



太陽や星の観察をしたときのように、動きをみるときには同じ場所・同じ方向で観察しよう。方位を調べる道具、方位磁針の使い方を確にんしよう。

# 方位の調べ方 (方位磁針の使い方)

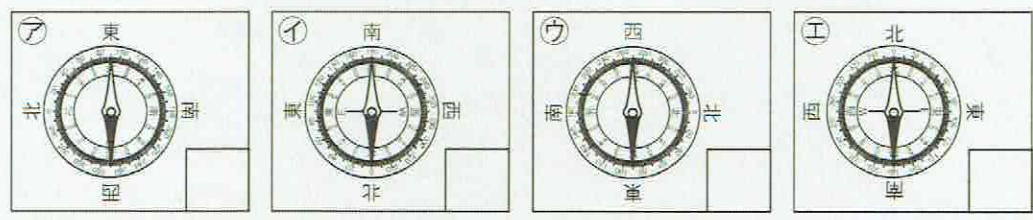
月 日 ( ) 名前

## 方位磁針の使い方

- ①のせる  
手のひらに方位じしんをのせる。
- ②回す  
はりの動きが止まったら、文字ばんを回して、「北」の文字を色のついたはりの先に合わせる。
- ③読む  
方位を読む。



方位磁針で方位を調べるとき、方位の合わせ方が正しいものを1つ選び、○をつけよう。



## 方位磁針がないとき

- スマートフォンやタブレットで無料のアプリを使って、方位を調べる。
- 正午のとき、太陽は南にある。太陽を向いたとき、左手が東、右手が西となる。(方位磁針などがあるときには、方位を確かめてから観察をする。)



5

雲と天気の変化

思い出してみよう

名前

1 方位磁針について、文の( )に当てはまる言葉を書きなさい。

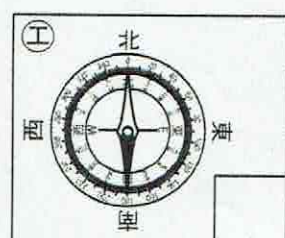
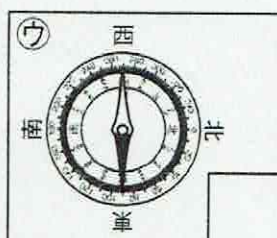
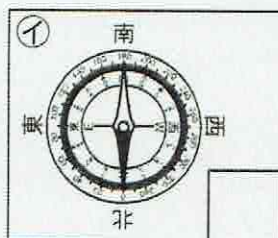
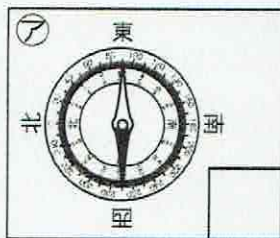
教科書  
3年31ページ

- (1) 方位磁針のはりは、自由に動くようにしておくと、いつも①( )と②( )を指して止まる。(①)と(②)の方位を知ること、③( )と④( )の方位もわかる。
- (2) 方位を調べるには、手のひらに、方位磁針をのせ、文字ばんを回し、文字ばんの⑤( )を、色のぬってあるはりの先に合わせる。



2 方位を調べる方位じしんについて下の絵にあるア～エの中で、方位の合わせ方が正しいものを1つえらび、○をつけましょう。

教科書  
3年31ページ



3



学習の  
ヒント

教科書 80 ページを見て、天気の流れ方を確にんしよう。晴れとくもりの区別は、目て見た空全体の広さを10としたときの雲の量によって決める。雲の量に關係なく雨が降っているときには雨とする。

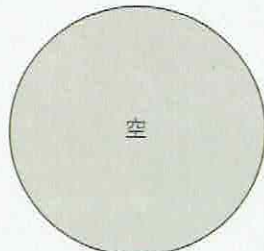
## 天気の流れ方

月 日 ( ) 名前

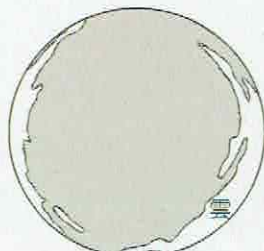
### 雲の量と天気

晴れと曇りの区別は、目て見た空全体の広さを10としたときの雲の量によって決める。雲の量に關係なく雨が降っているときには雨とする。

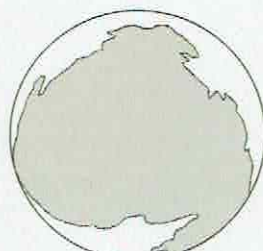
#### 晴れ (快晴含む) の例



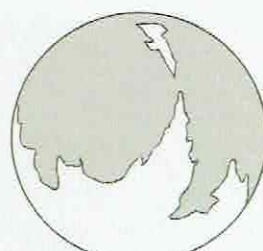
雲量0  
快晴



2  
晴れ



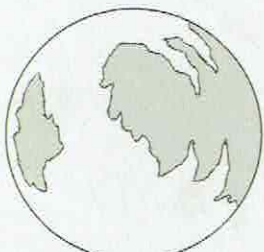
3  
晴れ



4  
晴れ



5  
晴れ



6  
晴れ

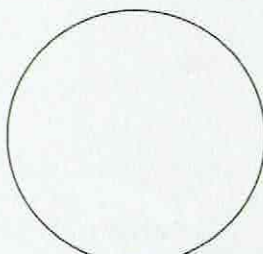


8  
晴れ

#### くもりの例



9  
くもり



10  
くもり

●今の天気は、

月 日 時

雲の様子と天気の変化には、どのような関係があるのだろうか。

観察

チャレンジ 観察 1 雲の様子と天気の変化について調べる

予想

理由

結果

午前中の空の様子 時間

▶ 午後の天気を予想しよう。→ ( )

午後の空の様子 時間

考察

まとめ

雲の様子と天気の変化には、どのような関係があるのだろうか。

観察

チャレンジ 観察 1

雲の様子と天気の変化について調べる

予想

理由

結果

午前中の空の様子 時間 \_\_\_\_\_

絵

ここには、

- ・天気
- ・雲の量、色や形
- ・雲の動き

などを観察して書こう!

▶ 午後の天気を予想しよう。→ ( )

午後の空の様子 時間 \_\_\_\_\_

絵

考察

結果を分せきする。

- ・雲の量や色や形は時間が経つとどうなったか。
- ・雲の量や色、形が変わると天気はどうなったか。

まとめ

問題に対する答えを、簡単に文にまとめる。